

事業報告

令和5年度 第1回 大分県公立図書館等職員研修会

日時	令和5年5月15日(月) 10:00~16:00
会場	大分県立図書館 1階 第2・3研修室 県立図書館以外の参加者については、録画したものを後日動画視聴
参加者	公立図書館等職員 39名

<研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、体系的に図書館サービスの基礎を学ぶ研修機会を提供することにより、県内全体での司書のスキルアップを図る。

<研修内容>

【講義1】 講義 「図書館サービスについて」
講師 県立図書館 サービス課 主幹司書兼課長 増本 貴光

講義内容

図書館とは
図書館に関わる法律
公立図書館に求められる役割、図書館に望まれる様々なサービス
カウンター業務、レファレンス（調査相談）、複写に関する著作権

【講義2】 講義 「児童サービスについて」
講師 県立図書館 サービス課 主幹司書 神野 貞子

講義内容

児童サービスとは
蔵書、選書について
カウンター、書架、案内表示
飾り、展示、行事など

【講義3】 講義 「郷土資料について」
講師 県立図書館 サービス課 司書 矢倉 美里

講義内容

郷土資料（地域資料）とは何か
郷土資料の収集・保存の意義
収集の範囲
資料の整理・保存

【講義4】 「市町村図書館における県立図書館活用方法について」

講師 県立図書館 学校・地域支援課 主幹司書 阿部 詠子

講義内容

貸出サービス（OLIB、団体貸出、相互貸借）

研修等（公立図書館等職員研修会、大分県図書館大会、巡回相談・司書等派遣）

その他のサービス

館内見学

<当日の様子（写真）>



<参加者感想>

◇図書館サービスの基礎について、改めて学び直すことができた。

◇講義・資料とも理解しやすかった。

◇日常勤務する上での知識が増えた。

◇時間を分けて講義を視聴したり、巻き戻してみるなど、効率的に受講できた。

◇今後経験を積んでも、基礎や最新情報を得るために毎年受講したい内容だった。

◇可能であれば、コロナ禍以前のように県立図書館に来館して研修を受講したい。